

会議録（要点筆記）

会 議 名	第3回米原市総合計画審議会
開 催 日 時	平成27年8月21日（金） 午後7時00分～午後9時00分
開 催 場 所	米原市役所米原庁舎 会議室2A
出席者および欠席者	出席者：岩崎恭典委員（会長）、鶴飼修委員（副会長）、西林正夫委員、 振角大祐委員、川崎祐七委員、北川学委員、小竹一男委員、 竹中礼子委員、田中雄一委員、鏑田鉄雄委員、富岡尚子委員、 中野民子委員、福永ひろみ委員、森嘉信委員、安田智枝美委員 事務局：山田英喜政策推進部理事、 政策推進課：小寺真司課長補佐、森川誠、川瀬雅史、関沢匡司 傍 聴：2人 欠席者：なし
議 題	・米原市総合計画後期基本計画の成果と課題（第3章以降）について
結 論	・米原市総合計画後期基本計画の成果と課題のうち、第3章から最終章までの項目について、次期総合計画で考慮すべき方向性などを検討した。
審 議 経 過	1 開会 （事務局から開会あいさつ）  2 あいさつ （会長から開会あいさつ）  3 議事 （1）前回のまとめ 事務局から、前回の概要を説明  （2）米原市総合計画後期基本計画の成果と課題（第3章以降）について  事務局 【事務局から資料2の第3章について説明】  会長 環境を中心とした内容ですが、意見はありませんか。  委員 環境こだわり農産物の認証面積ですが、平成24年度を境に減っています。農家の現状からすると、お米の場合、環境こだわり農産物であっても米の価格が上がるわけではありません。業者や消費者は、安く買いたいという思いがあります。農家としては、少しでも多く収穫したいため、環境こだわり農産物の面積が広がらない現状があると思います。補助金などの支援があるといいと思います。

会長	<p>TPPで安いコメが入ってくることになると、環境にこだわり農産物で、海外に販路を求め、消費者とダイレクトに取引をして生き残ろうという動きも一方ではありますよね。</p>
委員	<p>あります。それが担い手としては、大規模な面積になると全部を賄いきれませんが、一部分を先端的にすることはできますが、それを全体で賄うことは、なかなか難しいと思います。輸出についても難しいことが多い。農家としては、経営が成り立たないと意味がありません。</p>
会長	<p>環境こだわり農産物を買うことが、環境保全につながっている面での上乗せを期待したいところですね。</p>
委員	<p>滋賀県の環境こだわり農産物の基準は、全国でもトップクラスにあります。</p>
委員	<p>美しい風景を守る、維持していくという中で、米原市には水田や田畑がたくさんあります。それをいかに維持していくかが環境保全や景観を守ることにつながっていくと思います。先ほどのこだわり米の件もあります。また、耕作放棄地をどう無くしていくかもかなり大きな問題だと思います。これからの10年先を見た時、確かにTPPの問題はありますが、だからといって、農業を放棄しようということではないと思います。補助金が全てとは言いませんが、どういう政策を打っていったらいいのかを米原市としてやるべきだと思いましたので追加させていただきます。</p>
会長	<p>農業は下支えする価値があるということですね。</p>
委員	<p>騒音規制の関係ですが、騒音規制法の対象とならない施設からの騒音が問題であるとありますが、規制対象外の施設を、規制に追加していくような考えはありますか。</p>
事務局	<p>特定施設ではない施設を規制していくことは、現状として難しいと考えています。</p>
委員	<p>追加規制をつくり規制していくという検討はありませんか。</p>
事務局	<p>条例で特別に定める方法は可能ですが、例えば米の乾燥機など夜間運転は協力依頼で対応している例もあるため、様々なケースがあります。</p>
会長	<p>きめ細かな騒音対策が求められているという問題意識が書かれているという</p>

	<p>ことですね。</p>
委員	<p>22 ページの関係（美しい風景を守り維持するまちをつくる）で、地域の資源としては自然・文化・歴史・環境教育など子どものころから実施していくことも、次の計画の中で深めていただけるといいと思います。</p>
委員	<p>23 ページの関係（資源やエネルギーが循環する持続可能なまちをつくる）で、環境配慮型の公共施設整備ガイドラインの目標達成について書かれていますが、学校のエアコン導入は、気象条件などを考えると必要なことです。公共施設再編計画もありますので、米原市全体で二酸化炭素の削減を考えながら目標を設定して欲しいと思います。</p>
委員	<p>家庭から出るゴミの分別回収が進んでいると思いますが、生ごみのリサイクルを最近では聞かないように思います。他の案があって、新しい方向に向いているのか、コストがかかってだめだとか、将来は考えているだとか、現状と将来についてわかりましたら教えてください。</p>
事務局	<p>過去は、可燃ごみの減量化のため、家庭で生ごみ処理できる畑に置くコンポストや電気式の生ごみ処理機の普及を進めていました。最近では、エネルギー対策に施策のウェイトが移っていますが、生ごみの減量はとても大切なことです。</p>
委員	<p>将来に向かって力を入れなくてもよいのでしょうか。</p>
会長	<p>絶対に大切なことです。家庭から出る資源ごみのリサイクル率は、ちょっと下がりがつありますが、わければ資源になりますから。</p>
委員	<p>リサイクルを始めましようと言われた時には、それぞれ気を付けて分別していたような気がします。最近では慣れもあるというか、安易な気持ちが芽生えているような気がします。</p>
委員	<p>現在の子どもたちは、保育園から分別をきちんとしているので、娘に叱られたりすることもあります。先ほども教育のところ、子どもの時からとおっしゃいましたが、意外と子どもたちは、そのことがきちんとしてきているように思います。教育の力はすごいと思います。</p>
委員	<p>今のリサイクル、分別に関してですが、分別すること自体がちょっと難しいという人もやはりあると思います。特に、高齢になってくると、これをどこに入れたらいいのか分からない。それこそ慣れていないと分からないですし、できてい</p>

委員	<p>たことができなくなるということもあります。これからもっと高齢者の割合が増えることを考えると、分別して出すことが難しくなる場合もあることを頭に入れておかないといけないと思います。</p> <p>今、高齢者とおっしゃったので、この間も家の中で動けない御老人がいて、民生委員さんにお電話されて行ったら、ごみが10袋ぐらい出てきたそうです。そういうことから思うと、高齢化の問題で、衛生的でない状況が出るというものもあると思います。</p>
会長	<p>そうですね。三重県のある市の話ですが、地元の方が高齢者の燃えるごみを週2回、安否確認を兼ねてステーションに持っていく。燃えないごみも全部持っていく。それを自治会の集会場で分別して、集団回収のルートに乗せて、そこで得た還元金は自治会の活動経費にするといった運営をしているところがあります。やっぱり安否確認とからませて、ごみ出しをきっちりとする。ちょっとお金になるような仕事にするというようなことが、これから重要になるでしょう。ごみ問題、特に分別の問題というのは、もう一度地域の結び直しをやっておかないと、大変なことになると思います。今までの分別収集の仕方というのは、高齢社会を想定してないと思います。次期の計画の中では配慮しておかなければいけない話になるだろうなと思います。</p>
委員	<p>3節の景観です。新しく建てる建物については、とても気を付けてほしいと思っています。最近できたもので二つあって、一つは、駅前に新しくできたホテルです。彦根の方から国道を米原へ来た時に、一つだけ高いのがぼんと建ったので、今までと全然違う箱というか、鉄筋コンクリートなのでごく異様に思います。それともう一つはコンビニです。道の駅の前にできました。奥伊吹に続く昔からの雰囲気のある建物の前にコンビニが建ちました。昔からの古い街並みの中にコンビニがある場合、いろいろと配慮されていると思いますが、一般的なコンビニと同じ真っ白の四角い建物がぼんと建っています。すごく高い看板も立っています。そういうことはしない方がいい。特に新しい建物を建てる時は、気を付けた方がいいと思います。</p>
委員	<p>摺針峠のところからずっと歴史探訪みたいに歩いた時があって、その時に摺針峠の上から見ると、琵琶湖が一望できて、本当に素敵で、江戸時代の方もこんな風景を見たんだなといったロマンに浸れましたが、今は、高い建物ができて琵琶湖が分断されています。何かのあたりで思いました。今、おっしゃったことで、私も感じたことがあったと思いました。米原市もそういうことに気を付けていかなければいけないと改めて感じました。</p>

委員	<p>数値的なことでちょっと教えて欲しいのですが、23 ページの上の方で、環境フォーラム参加者数の各年度の実績が出ています。真ん中の平成 25 年度の数字が大きくなっています。そのあと、また平成 26 年、平成 28 年は減少しています。なぜ平成 25 年度だけ数字が大きいのか。</p>
事務局	<p>農林水産祭りと合わせて開催しましたので大きくなりました。</p>
委員	<p>再生可能エネルギーと書いてあります。ソーラーとかは分かりますが、他に何か考えておられることはありますか。</p>
事務局	<p>ソーラーがメジャーですが、小水力や木質バイオマスも考えています。</p>
委員	<p>空地があつたらすべてソーラーパネルが並んでいるというのは、あまりよろしくないと思います。特徴的な何か他のものが出せるといいような気がします。あと、コージェネレーションがありますが、熱と電力を同時供給するものは、小さいローカルのスケールなら結構賄えると思います。大規模に市内全域をととなると厳しいと思いますが、暮らしを守ろうとしている奥伊吹地域なら、そういうものがあってもいいなと感じました。</p>
委員	<p>水環境についての意識啓発ですが、2 節、20 ページのところで、「やります。」「実施しました。」と書かれていますが、実際山側に住んでいる人が、自分たちのところから水が流れて琵琶湖まで行っている。その先につながっているという意識がどれくらいあるか、いつも疑問に思っています。さっきも言われたように、教育も大事ななと思います。</p>
委員	<p>奥伊吹でイベントをずっとしていました。その時に、水の流れを大切にしようといって、おっしゃられていることは、そこからすごく意識するようになったので、知ると多分違うし、教育にそれが組み込まれると本当にいいと思います。</p>
事務局	<p>米原市にある水源の里の条例にもつながりますし、この前つくりましたびわ湖の素も同じ考えから発していますので、もっと PR していきたいと思います。</p>
委員	<p>22 ページの市民一人当たりの都市公園面積ですが、子育て支援課の調査で、小学校や保育園の子を持つ親にアンケートをしたところ、米原市で遊べる公園が少ないという結果が出ています。それが、すごく不満だったか、改善してほしいという項目で、60 パーセントぐらいの数字が出ていたと思います。でも、公園は本当にたくさんあると思います。米原駅東口にも公園ができましたが、公園</p>

	<p>をどんどん造っても、それが子育てしている親に限っていえば、生活の豊かさに結びついていないので、どういう公園を求めているのか、意見を取り入れることがあってもいいのかなと思いました。</p> <p>東口の公園でいうと、駐車場がないのと遊具が一つもないので、ちょっと子育てしている人にとっては、遊びに行く公園ではないかなという思いがあります。その辺に違いがあるのかなと思いました。</p>
委員	<p>子ども子育て支援事業計画の審議会に入っていましたが、遊び場の整備では、基本計画に基づき、主幹道路沿いには樹木を設けるうるおいのまちづくり、保育園などは、園庭解放などをして、親子で遊べる場を提供する。それから、大きくは自然を活かした子育て環境の充実ということで、冒険遊び場ですか、里山の冒険遊び場、ああいうものをいくつか造って、そういうところで遊べる環境をつくらうということが、計画の中で新たに決められています。他にもちょっとありますが、水に親しむ事業や里山の保全と活用などが挙がっています。</p>
会長	<p>公園といってもいろんな種類の公園があります。市民が利用しやすい公園はどのようなものか。公園の設計の時から、市民の皆さんに入っていて、ワークショップをして考えることも、もう一度考えてもいいのかもしれない。次に行っていていいですか。第4章いきましょうか。</p>
事務局	<p><b>【事務局から資料2の第4章について説明】</b></p>
委員	<p>26 ページです。先ほど説明にありました避難行動要支援者名簿の登録実績にも出ていますが、非常に低い数字が出ているので、何とか理解を求めていくことが必要だと思います。全体的にいて、市の地域防災計画、これを実効性のあるものにする、防災減災計画についても、防災計画と整合性のあるものにしていくことが必要ではないかと思ひます。地域の自主防災組織の温度差であったり、機能しないというのが現状であるということも書かれてありますが、防災減災の基本理念というのは、自助、共助、公助の順です。これを浸透させるためにも、行政、市民、事業者の責務と役割を明らかにしていく必要があると思ひます。その方法としては、条例とか規則的な縛りを入れていくこともある程度必要ではないかと思ひます。それが1点です。もう一つ、避難場所と入れているのと、避難所という区分です。これができているのかなと思ひます。避難所というのは、自宅に帰れない人が一時的に生活できるような場所、避難場所というのは一時的に緊急避難する場所だと私は理解しています。左側の下の方に「自治会の避難所施設の耐震」があるし、右側の下の方に「自治会避難場所に指定されている建物の耐震化」と出ています。避難場所は一時的なものであったと思ひます。</p> <p>それから27 ページです。消費者安全法、消費生活センターですが、これは、</p>

	<p>専任の職員の配置が必要だと思います。高齢化によって、消費者被害というのも増えてくると思いますので、やはり、市の姿勢として、専任の職員を配置して、相談員のスキルアップをさせるような研修や情報の収集、こういったものに取り組む必要があると思います。</p> <p>それから自転車の関係ですが、道交法が改正され、14 項目の危険行為の違反行為を 3 年以内に 2 回以上摘発されると安全講習を受けなければなりません。これは、14 歳以上が対象になりますので中学生も入ります。その辺の教育を家庭や学校で必要なのではないかと思います。ハード的には、自転車レーンといえますか、人と自転車と、また自転車と車をわけるようなレーンの整備も考えていただくとうれしいと思います。</p> <p>それから 29 ページで、路線バスの利便性の向上を図るといっているのは、無理に利用者を増やしていくということを考えなくても、乗り合いタクシーの利用を増やす方法を、例えば、先ほど言われたように、病院や買い物などいろいろな路線を考えていった方が、より利便性があるって利用もしやすいと思います。公共交通の一人 1 乗車当たりの運行赤字額で、平成 26 年度実績 620 円と出ていますが、乗り合いタクシーと路線バスを比べるとどちらが多いのですか。路線バスは、絶対に必要ですか。</p>
事務局	<p>民間の路線バスの利用が少なくなり、廃止代替バスとして市が補助をして運行しています。それでも利用が伸びない。しかし、公共交通は必要なので、次に出てきたのが乗合タクシーです。どれがいいのかというのは、一概に言い切れませんが、今後の高齢化社会を考えると公共交通は重要であると考えています。</p>
委員	<p>高齢者に必要だから、路線バスの利用を増やしていかないといけないのもわかるのですが、どちらかというと、乗り合いタクシーの方が時間的にぐると回れると思いますので、そっちの方を検討していった方がいいように思います。</p>
委員	<p>今のその意見によろしいですか。米原市のある地区では、全員が社員になって、自分のところの車で、多分高齢者中心だと思いますが、タクシーよりも安く、バスよりも利便性があるということで、送迎をやられているところがあります。</p>
会長	<p>移送サービスですね。福祉有償ではなくて。NPO がやっているのですか。</p>
委員	<p>何々会社という名前と聞いています。</p>
会長	<p>いつも議論になりますが、福祉有償運送がどっと入ってくると、タクシーが少なくなる。そうすると、ちょっとした用事で来た人が駅前まで待っていてもタクシーが全然来ないという状況がよく出てきます。いろんな方の利便性を考えて、ベ</p>

委員	<p>ストミックスを考えることが必要です。</p> <p>乗り合いタクシーの話ですが、これから高齢者になっていく世代の方が、果たして乗り合いということができるのかどうかという問題があると思います。高齢者のデイサービスでも、趣味・個別のことをしたいという世代であるので、他の人と一緒に乗り合わせて行くことができるのか、気になるところだと思います。それから、交通の面では、高齢者のことを主に考えられていますが、高校生の通学にはバスは使えないので、親としては不便に思っています。</p>
会長	<p>お年寄りもそうだけれど、車を持つまでにいかない若年層の移動手段、高校へ行くとか、そういうようなところの対策は、実はあんまり出てきていないですね。一つは自転車の話があるんだろうけれど、公共交通を利用できないという課題はあります。</p>
委員	<p>もう一つ別の件ですが、25、26 ページの辺りです。やっぱり自主防災組織の温度差がすごくあると思うので、ここに書いていただいているように、活性化を促す何かをしてもらう必要があると思います。かまどベンチがたくさんあります。米原駅西口の円形広場にもありますが、多分作るだけ作って、実際には使っていないところがすごく多いと思います。各自治体などでも、いろいろ公園などに作られているかと思いますが、防災訓練の時に、それを実際使うようにと言ってもらわないと、使われていないところが多いと思います。</p>
委員	<p>交通に関連してですが、大きな幹線道路は除雪されていますが、米原市の除雪の状況がどうか、僕も十分把握していないので申し訳ありませんが、もっと雪国というか、北へ行くと歩道をまず優先して開けているということもあるので、学生さんを含めて、車だけが通れるのではない確保の仕方も含めて考えていないといけないのかなと思います。</p>
委員	<p>私、「子ども 110 番のおうち」をさせていただいています。数年前まではコーンが壊れていないかとか、自治会長さんからも連絡がありましたが最近は動きがありません。今後もされるのであれば、逃げ込んでこられた時に、まず一番に何をするのかなどの講習会をして欲しいです。今後の 10 年どうされるのか、みんなを守っていくということであった方がいいと思います。</p>
事務局	<p>今の話は、8・3運動に関係していると思います。子どもの登下校の時間帯である 8 時と 3 時に、なるべく外の用事をしながら子どもを見守ろうとする運動です。「子ども 110 番のおうち」については確認させていただきます。</p>



委員	<p>北陸新幹線が金沢まで来ていますが、あれは、うかうかしていると、そのまま小浜を通って行ってしまわないかと懸念しています。米原駅につながるよう、行政も精力的にやっただいていただいているとは思いますが、市民みんなが本当にそのことを願って一生懸命にならないと、米原市が置き去りになってしまうと職場でも話しています。他に先を越されないように一生懸命になっていただきたいという願いがあります。私の周りではそういう話がいっぱい出ているのでお願いします。</p>
委員	<p>農業をしていると気象の変化をすごく敏感に感じる事が多くあります。近年、局地的な豪雨がすごく多いと思います。去年の台風18号でも、川が増水をして土川もあふれる寸前までできていました。この先、もっともっと大きい災害があると思います。そういうことも想定して広く見ていただきたいなと思います。</p>
会長	<p>確かにそうですね。ちょうど1年前になりますが、三重県に特別警報が出ました。三重県ですごく特徴的だったのは、避難所を開設して、亀山や鈴鹿もそうでしたが、お盆の帰省で新名神や名阪が閉鎖になってしまったので、行き場を失った人たちが避難所に来られました。帰宅困難者というのは、道路を閉鎖された時の帰宅困難者も想定しておかなければいけないということを知りました。</p>
委員	<p>今言われたように、米原市は交通の要衝ですから、列車が止まった場合とか、車が止まった場合、どうするんだということが出てくると思います。これは、ぜひ地域防災計画の中でも、帰宅困難者対策を含め、しっかり入れてもらってやっていくことが必要だと思います。</p>
委員	<p>防災無線は今後どうなりますか。</p>
事務局	<p>防災無線は、今度当課が説明会を開きます。今のシステムは古くなり継続が難しいので、新しいシステムについて説明します。具体的な事はこれからになります。</p>
委員	<p>休校の案内を聞き逃したのかなと思う時があります。子どもを学校に行かせるのに、朝7時ぐらいに親はどうなんやろう、どうなんやろうと思うので、その辺も分かりやすいまちになればいいなと思います。</p>
委員	<p>情報を的確に伝えるということは、難しいことではあります。妙な情報で踊らされるのが一番怖い。情報の通信網を活用することは、危機の進展とともにきちりと考えておかなければいけない話です。それと、お年を召した方や障がいのある方には、それぞれ届ける情報は違います。その意味でも、30ページにある</p>

事務局	<p>ように、共助の自主防災組織による伝達体制の構築というのがあるのでしょうか。</p> <p><b>【事務局から資料2の第5章について説明】</b></p>
委員	<p>先ほどから農業関係ばかりお願いしていますが、第5章第1節の課題の下の方に農業関係がいくつか書いてあります。(農業就業人口の減少と高齢化の進行、農業後継者不足、新規就農者の確保、耕作放棄地の増加、集落営農組織の弱体化)これはまさに課題そのものだと思います。滋賀県は一集落一営農集団で進めてきました。それが逆に無理があつて、少し維持できないところも出てきています。集落営農の弱体化を防止するとか、担い手さんに土地を集約するために、米原市も人・農地プランを広めることを加速しています。恐らく1、2年でどうこうできるレベルのものと、そうでないものがあると思いますが、環境保全もそうですが、農業経営が健全化しなければ意味がないという思いがあります。</p> <p>農政というのは、毎年施策が変わります。今年もまた担当者が変わられて、本当に大変な思いをされていると思います。農業は特別だと思うので、担当者をいっぺんに変えてしまうというのは、すごく無謀なことだと思います。やっぱり何名か経験者を残して、もう一人育ったぐらいでまた入れ替えるぐらいの感じでいってもらわないと、現場も混乱しますし、そういう体制を取ってもらうことを希望します。</p>
会長	<p>なるほどね。市役所の体制そのものを専門職化していかないといけないということですか。</p>
委員	<p>そういうことです。</p>
委員	<p>確かに昔のようにジェネラリストでこなせるような仕事は、少なくなっています。どれもこれも課題が深いし、解決まで時間がかかるから、どこへ行ってもある程度専門職にならざるを得ないような、そういう人事体制に取り組まなければならないのは確かでしょうね。次の章の部分にかかわってくる話だと思います。</p>
委員	<p>農家民泊についてですが、うちの実家に横須賀の中学生が来て、すごく楽しく2日間ぐらい過ごして行かれて良かったと言っています。根本的なところで、米原市にとってどういうメリットがありますか。</p>
事務局	<p>民泊された方に米原市の良さを知ってもらえるということがあります。実は、新幹線駅の近くにこんな田舎があつてという体験をしていただいて、米原市をPRしてもらえるとというのが一つ魅力であると思います。受け入れの方が、かなり</p>

委員	<p>大変な思いをされていると聞いていますので、それをビジネス化できないかという思いを持っていますが難しいです。</p> <p>基本的には、すごくいい取組だと思っています。いい雰囲気です。帰ってくるし、多分、お母さんやお父さんに伝えてくれると思います。それは、それで良いとして、米原市に住んでいる小学生、中学生が、逆に都会に行き、今の最先端の何かを学んでくるというような、交換的にそういう取組をしていった方がいいのかなという気がします。相互であったらよりいい気がします。</p>
委員	<p>米原駅の乗車人員は非常に多いのですが、それを活用したものが何もないのではと思います。例えば、JR長浜駅でしたら、乗降客は5千人程度ですね。ここにもありますが、米原駅だと、新幹線と両方合わせ1万人以上になります。それを対象とした、買い物を楽しむような施設がないし、駅を中心としたものを考えていく必要があると思います。米原市のシティセールスプランを具現化していくと、いろいろ出てくると思います。この前アンケートを取られた内容で、交通の利便性はあるが地名度が低いし印象が薄いと出ています。商業施設も企業も少ないというのが、アンケートで出ているわけです。米原市はこんなまちだとしていくと、先ほどもいろいろ言われていましたが、琵琶湖と日本百名山の一つである伊吹山を核として売り出していく内容になると思います。それは必要だと思います。ここ米原市というところは、東西文化が混ざっているところでもあるし、境界線でもあると思います。</p>
委員	<p>米原市は文化の境界ということ売り出して、全国発信するののも一つあっていいなと思いました。それから、空き家対策です。空き家対策研究会などいろいろされていますが、平成26年度の調査だと767戸の空き家があるそうです。これは、相続の関係もありなかなか有効な手段がないのではと思います。そうした中で、例えば空き家を更地にするのと税金が高くなりますので、空き家のまま放置していた方がいいということになるのではと思います。本当に解決するのが困難になってくると思います。更地にするのと、土地の税金が高くなるというのは本当ですか。</p>
事務局	<p>税金が高くなるというのは、住宅を建てると税金が安くなる。高くなるのではなくて、元に戻ることにになります。</p>
委員	<p>空き家を壊してしまうと、逆に戻るから高くなるというイメージを市民の方は持っています。</p>
事務局	<p>国では、そういう問題もあるので、空き家のまま放置しておいたら税金を元に</p>

委員	<p>戻すような検討をされています。放置しておいても、壊しても税金は元に戻ります。実際、家を建てると固定資産税が6分の1ぐらいになります。それが元に戻ってしまう。都会は土地が高いので、固定資産税が高いから、都会の方が問題になります。</p> <p>例えば、空き家を処分したらメリットがある。そういうものがあるべきではないかと思います。</p>
事務局	<p>J R東海道本線の3駅周辺については補助制度があります。</p>
委員	<p>僕の周りで結構、田舎の古民家に住みたいという人が多いのですが、実際この辺に来た時に、声を掛けただけで貸してくれないことが多くて、この空き家というのが、誰かに貸してもいいよというたぐいのものはどの程度ありますか。</p>
事務局	<p>借りたいという方と貸したいという方のマッチングや相談窓口として空き家対策研究会が昨年できました。市と一緒に空き家対策に取り組んでいます。空き家バンクのようなものをつくって、28 軒程貸せるような空き家がストックされていると聞いています。普通に移り住んでくるといふ貸し方は、空き家対策研究会ではしてなくて、本当に借りたいという意思のある方を自治会長さんとおつなぎして、面接のようなことをして、マッチングをしています。成立しているところは5件程あります。</p>
委員	<p>先ほどからよく触れています 37 ページですが、米原駅のことを何人かの方がおっしゃいましたが、私は毎日1時間ぐらい米原駅の構内に入って仕事をしています。米原駅で降りる方はあんまりいません。新幹線から在来線、在来線から新幹線への乗り換えで、ほとんど降りる方がいません。北陸新幹線が米原駅を通ったらいいと言われましたが、これも通ったら通ったで、ただ通過駅や乗換駅になる可能性が高いです。何か県外から来る人を観光でも何でも、ただ通過駅だけではなくて金を落としてもらわないと。今住んでいるところは醒井ですが、梅花藻が全国的に有名になりました。でも、バスを降りて梅花藻を見るだけです。観光バスでご飯を食べるところもどこにもない。土産屋がないわけではありませんが、お金は落ちない状況です。</p>
事務局	<p>おっしゃったように、通過駅になっては困ると思っています。そのために、移住定住促進の施策など、いろんな施策をやっていきたくと思っています。にぎわいづくりのために、今おっしゃったような土産物をどこかで買えるようにしたいとか、そういう取り組みも考えてはいます。ただ、それは、来年できますよとか、再来年できますよという話ではありません。いろんな要素が組み合わさってこな</p>

委員	<p>いと難しいと思います。それが、米原市だけではなかなか難しかったら、もうちょっと広域に考えていく必要もあると思います。</p> <p>行政や商工会、JRなどが協議会を設けてやっていかないといけないと思います。先ほど長浜の例を出しました。長浜にはお店がありますが、米原駅は通過駅の形です。だから活用できていないということがありますので、そのところを考えていかないといけないと思います。</p>
委員	<p>米原駅前の開発は、行政主導でいろんなことをやっていかないと発達しないと思います。県知事もこの米原駅というのは、県の北の玄関口と言っておられる。それに見合ったようなものをやっていかないといけないと思います。</p>
委員	<p>今、いろいろ出ていますが、体験交流型の観光はすごくいいと思っています。私も今ちょっとあっちこっち時々遊びに行ったりしますが、全然知らないまちでも、そこに知っている人がいて、その人がさらにその先をいろいろとつなげていってくれるという旅行はすごく楽しくて、米原市もやっぱりそういうふうになった方がいいと思います。ということは、米原市の各地に楽しく働きながら暮らしている人がたくさんいて、そこに来ていただいて、一人一人がファンになってもらうことが大切だと思います。UターンやIターンの対策のところ、いろいろと就職先や家や子育ての環境などもアピールしていくということもありますが、もちろん就職先は、どこかの企業に雇用されることもあります。自分で何かをしたいという人に来ていただくことに力を入れていかないといけないと思います。その上に書いていた工業団地の工業というのうが、これから先どうなのかということ、産業としてどうなのかということも含めて研究をしていただけたらと思います。大きい工場に雇われるというよりは、小さく自分たちで何かをやりつつ、楽しく暮らせているという人がたくさん住んでいるところに、いろんな人が来て、にぎわいも出てくるのではないかと思います。</p>
会長	<p>おそらく移住定住定着というのは、そういうライフスタイルを選択した人のことだろうと思います。そう思うと地域にはいろいろと仕事のネタがあります。これは農業に限らず、物をつくるというのがあります。あとはサービスを提供する担い手や、移送サービスの提供などもあります。そんな仕事を自らつくって、それで生計を立てるといような生き方にも対応できる。そんな地域でありたいなという話だろうと思います。ここにもありますが、39 ページにある行政サービス、公共サービスについて、行政としての役割やサービスの再定義をした上で役割分担、それから新たな公共を支える組織づくりが必要で、市民生活からすると、一番重要な部分なのかなと思います。防災の面でも必要な話ですし、いろいろ出てくる生活課題を解決する仕組みをつくっていくことから必要な部分だと思</p>

委員	<p>います。</p> <p>あと一つお願いがありますが、この間ワークショップに出た時に、大豆あんを使ったお菓子を開発された方と直接お話をしたのですが、お菓子を開発しても、自分たちは高齢だから、お土産に見合うようなパッケージづくりができない。デザイン力もなければ、それを外部のデザイン会社に頼むお金もない。ここで止まってしまうのはせっかく開発したお土産になり得る商品がなかなか売れていかないということで、その時に思ったのですが、協働事業提案制度が仕事づくりに使えるような、商工観光課と共同で何かを開発するとか、お土産の開発に使うとか、仕事づくりに活用できればやりやすくなるのではと思いました。</p>
委員	<p>今の話で、ちょっと職場などで話していたことを思い出したのですが、シティセールスのマークが水滴の形で、おいしい水がここにはあるので、米原市の水が売れるといいなということ話を話していました。また、関ヶ原町で関ヶ原古戦場の再整備を進める計画があるそうです。米原市にも朝日の観音寺だってすごい歴史があるし、柏原にもいろんな所があります。そういうところにちょっと乗っからせていただいて、観光プランみたいなものに乗っけられたらいいなと。自らできなければ乗っかる方法でいってはどうかと思っています。</p>
委員	<p>商工会などで、オリテ米原キャンペーンを市とタイアップして実施していますが、米原駅から降りてもらっても、おもてなしの受け入れの力がまだ備わっていません。商業的にもそうです。だから、この先、おもてなしの力を備える必要があると思います。</p>
会長	<p>観光は、確かに地域境界をこだわる話ではありません。石田三成つながりとか彦根との関係もありますから。それは、十分考えていかなければいけない話です。</p>
事務局	<p><b>【事務局から資料2の政策実現のための都市経営について説明】</b></p>
委員	<p>先ほど核になるんじゃないかという話をされていましたが、今の説明でも自治会がそのまま行くと、維持していくのが難しいというのは、その通りだと思います。全ての自治会でないと思いますが、相対的に少子高齢化によって、自治会自体が弱小化しているというか、疲弊しているのは事実だと思います。そうなってくると、ここにも書いてあるように、自治会として事業を進めることが難しくなってくると思います。高齢者の居場所づくりであるとか、安全、防犯防災、子どもやお年寄りの見守りなどを含めて、自治会単位では無理があると思います。学区単位のまちづくり協議会が、今後は必要になると思います。先進事例を学んで導入をどうするか検討していただきたいと思います。ぜひこれをお願いしたいと</p>

	<p>思います。</p>
<p>会長</p>	<p>そうですね。何らかの形を考えていかざるを得ないと思います。今年の 2015 年国勢調査の結果が、おそらく世帯数の最高になるだろうと言われていました。世帯数が今年をピークに減り始める可能性があって、そうすると世帯主を構成単位としている自治会は、これからどんどん弱体化していかざるを得なくなります。世帯主が主体になっているわけですから。その意味でいうと、まだ自治会有一些程度余力のある間に、まちづくり協議会みたいなものを立ち上げていくということも非常に重要なことだと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>柏原に野球ですごい子どもがいて地元で応援しています。みんなで応援して欲しい。人材が輝けるような教育を、何気ない場面を大事にしていく教育現場であって欲しいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>先ほども出ましたが、自治会についてやはり人口も減少している中で、この計画にも書いているように、地域が担うべきことがかなり増えています。支援が必要であると重ねて言わせていただきたい。先ほどの行政についても、専門職化が福祉においても必要です。あと、計画として、確かに一つ一つ見ていったらそれぞれ重要ですが、横串を刺すというか、産業と環境とか、介護人材が少ないことと人材育成とか、また福祉と産業と結びつけるようなことを、行政の中でも庁内連携しながら施策を統合してやっていくことも必要であると思います。</p>
<p>会長</p>	<p>そこは、われわれも考えないといけないところですね。どうしても縦割りになってしまいますからね。地域の部分でまとめるのか、いろんな領域、例えば環境、福祉という、あるいは教育という場面でまとめるのか。試行錯誤して行かざるを得ないだろうと思います。今、午後 9 時のチャイムが鳴りました。今日言い足りなかったということがあると思いますので、改めて事務局の方にペーパーでお寄せいただければと思います。今後の予定について事務局からお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>貴重な御意見ありがとうございました。次回の審議会につきまして、その他ということで書かせていただいております。次回は、9月17日木曜日午後7時からこの場所でさせていただきます。御都合の悪い方は事前にご連絡いただければ幸いですよろしく申し上げます。最後ですが、副会長から申し上げます。</p>
<p>副会長</p>	<p>(副会長から閉会あいさつ)</p>
<p>会長</p>	<p>本日はこれまでとさせていただきたいと思います。どうもありがとうございました。</p>

